

報道関係者 各位

2021年2月2日

公開講演会「グローバル化する武道と中東」 2021年3月19日(金)オーバルホール(梅田)にて開催！

※新型コロナウイルス感染症の予防のため、講演会を変更・中止する場合がございます。予めご了承ください。

国立民族学博物館(大阪府吹田市千里万博公園10-1)では、公開講演会「グローバル化する武道と中東」を2021年3月19日(金)にオーバルホール(大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞社B1階)にて開催する運びとなりました。

【趣旨説明】

今年夏に開催予定の東京オリンピックでは、二つの武道が公式種目となりました。柔道と空手です。本講演会は空手を中心とした武道の中東地域への広がりから、スポーツ文化のグローバル化について探求します。

武道は、もはや日本だけにとどまることなく、そのあり方を変えながら、世界中で親しまれています。一方で、武道が中東地域で人気を集めていることは、日本では意外と知られていません。特に空手は、イスラエル、トルコ、イランなどで広く普及しており、エジプトでは国民的なスポーツになって久しいです。一般的に空手は、日本の伝統文化として世界的に知られています。しかし多くのエジプト人空手家は、空手が日本発祥の格闘技であることを深く意識せず、グローバルな世界とつながる手段として稽古に取り組んでいます。

では、誰が、どのような経緯で、中東に武道を広めていったのでしょうか。中東にはどのような社会的、文化的価値があり、武道が受け入れられていくことになったのでしょうか。また、武道の何が中東の人々のハートをつかんだのでしょうか。武道のグローバルスポーツとしての展開について、中東の事例から考えます。



みづか 公開講演会

中東と武道

グローバル化する

参加費 無料

2021. 3. 19 (Fri)

18:30~20:45 (17:30開場) WEB参加も可能です(要事前申込み)

会場 オーバルホール 定員 100名(要事前申込み/先着順)
大阪府北区梅田3-4-5 毎日新聞ビルB1

【基調講演】「オラチから考えるエジプトのスポーツと社会」
相島 潤月 (国立民族学博物館)

【基調講演】「異文化による中東での空手の普及——日本人の視点より」
小倉 孝保 (毎日新聞社)

コメント アレキサンダー・ベネット (国際大学)

後援 同会 洋画 (国立民族学博物館)

主催 国立民族学博物館 毎日新聞社
National Museum of Ethnology

*本講演会は会場内での開催のほか、WEBライブ配信(要事前申込み)でも視聴いただけます。
*新型コロナウイルス感染症の発生による急変に備え、本会が主催する講演会については、このほかにも、
また、進行状況によっては、開催の中止、別日の実施等になる場合もあります。ご了承ください。

【講演1】カラテから考えるエジプトのスポーツと社会

相島 葉月(国立民族学博物館・准教授)

【講演2】岡本秀樹による中東での空手の普及——日本人の視点より

小倉 孝保(毎日新聞社・論説委員)

【パネルディスカッション】**【趣旨説明・司会進行】**

河合 洋尚(国立民族学博物館・准教授)

【コメンテーター】

アレキサンダー・ベネット(関西大学・教授)

【パネリスト】

相島 葉月 × 小倉 孝保 × アレキサンダー・ベネット

【総合司会】

河合 洋尚

【公開講演会とは】

先端的な研究活動を取りあげ、その成果を社会に積極的に還元するとともに、文化人類学・民族学を通じての異文化理解と、広く本館が学術研究機関であることの認識を一般市民に深めてもらうことを目的として、東京と大阪において実施しています。

今年度は、2020年11月6日(金)に日本経済新聞社大阪本社カンファレンスルームにて「ファンタジーの挑戦——もうひとつの世界を想像しよう」を実施しました。

【プログラム】

17:30	開 場	
18:30 - 18:35	開 会	島田 智 (毎日新聞社大阪本社・編集局長)
18:35 - 18:40	挨拶	吉田 憲司 (国立民族学博物館・館長)
18:40 - 19:10	【講演1】	相島 葉月 (国立民族学博物館・准教授) 「カラテから考えるエジプトのスポーツと社会」
19:10 - 19:40	【講演2】	小倉 孝保(毎日新聞社・論説委員) 「岡本秀樹による中東での空手の普及——日本人の視点より」
19:40 - 20:00	休 憩	
20:00 - 20:45	パネルディスカッション	
	司会進行	河合 洋尚
	コメント	アレキサンダー・ベネット(関西大学・教授)
	パネリスト	相島 葉月 × 小倉 孝保 × アレキサンダー・ベネット
20:45	終 了	

【登壇者紹介】



相島 葉月（国立民族学博物館・グローバル現象研究部・准教授）
専門は社会人類学、中東研究、現代イスラーム思想。エジプトにて都市中流層の教養や身体文化に関する民族誌的調査を行う。主な著書に *Public Culture and Islam in Modern Egypt: Media, Intellectuals and Society* (2016, IB Tauris)、「現代中東における武道の普及とグローバルスポーツとしての展開」『中東・イスラーム世界への30の扉』（近刊、ミネルヴァ書房）。



小倉 孝保（毎日新聞社・論説委員）
1964年滋賀県生まれ。1988年毎日新聞社入社、カイロ、ニューヨーク両支局長、欧州総局（ロンドン）長、外信部長などを経て現職。2014年に英外国特派員協会賞受賞。『柔の恩人——「女子柔道の母」ラスティ・カノコギが夢見た世界』で小学館ノンフィクション大賞、ミズノスポーツライター最優秀賞を受賞。近著に『ロレンスになれなかった男——空手でアラブを制した岡本秀樹の生涯』（2020年、KADOKAWA）。

【コメンテーター】



アレキサンダー・ベネット（関西大学・教授）
専門は日本思想史、日本文化論、武道研究。ニュージーランド出身。剣道教士七段、なぎなた五段、居合道五段、銃剣道練士六段、短剣道練士六段を取得。主な著書に『武士のエトスとその歩み——武士道の思想的考察』（2009年、思文閣出版）、*Budo: The Martial Ways of Japan* (2010, Nippon Budokan)、『日本人の知らない武士道』（2013年、文春新書）、*Kendo: Culture of the Sword* (2015, Univ. California Press)。

【総合司会】



河合 洋尚（国立民族学博物館・グローバル現象研究部・准教授）
専門は社会人類学、漢族研究、客家研究。中国南部や華僑華人社会で移動、アイデンティティ、景観創造に関する民族誌的調査を行う。主な著書に『景観人類学の課題——中国広州における都市環境の表象と再生』（2013年、風響社）、『客家——歴史・文化・イメージ』（2019年、共著、現代書館）、『＜客家空間＞の生産——梅県における「原郷」創出の民族誌』（2020年、風響社）。

【開催概要】

講演名	公開講演会「グローバル化する武道と中東」
日時	2021年3月19日(金) 18:30～20:45(開場17:30)
会場	オーバルホール(大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞社ビルB1)
定員	180名(要事前申込み/先着順) ※手話通訳あり
ライブ中継	本講演は会場内での聴講のほか、WEBライブ中継(要事前申込み)でも参加頂けます。
主催	国立民族学博物館、毎日新聞社

【会場】 オーバルホール(大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞社ビルB1)
要事前申込(定員180名・先着順)/無料

【ライブ中継】 要事前申込(定員なし)/無料

【申込み方法】

申込方法

会場へ参加ご希望の場合もライブ中継参加ご希望の場合も、
国立民族学博物館のホームページ内にある申込フォーム画面に従って
必要事項をご入力ください。

* 参加申込をいただいた方の個人情報は本講演会でのみ使用いたします。

<https://www.minpaku.ac.jp/>

2021年2月12日(金)受付開始予定

問合せ先

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1
国立民族学博物館 研究協力課
TEL 06-6878-8209 FAX 06-6878-8479
メールアドレス koenkai@minpaku.ac.jp

[お問合せ] 国立民族学博物館 総務課 広報係
電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@minpaku.ac.jp
プレス向けウェブサイトwww.minpaku.ac.jp/press